

JD受注出荷システム JD,NHI実消化管理システム 「製薬EzEDI」

製薬会社では、JD-NET自動受注は必須機能です。製薬EzEDIを導入いただくと、受注業務の効率化、ミスの撲滅など大きなメリットがあります。しかも、SaaSですから、EDIサーバーも、システムのサーバーも無用。JD-NETとの契約だけあれば、システムを利用することができます。コードの御社用への自動変換、EDI受注、受注登録、出荷指示、出荷確定、仕切書登録、会計インターフェイス。運用コスト10万/月。

The screenshot displays the EzEDI system interface, which includes a search and filter section for orders, a main table of order details with columns for order ID, date, quantity, and status, and a summary section with bar and pie charts. A mobile app interface is also shown on the right, displaying a map and order details.

クラウドを利用したEDI送受信、受注出荷業務、実消化業務で製薬卸との業務効率化がはかれます。

- ・ JD-NET、NHI-NETなどのEDIとの接続
- ・ 受注・実消化データなど様々なデータの送受信
- ・ 送受信データの自社コードと卸コードの変換
- ・ エラーデータの修正機能
- ・ EDI・FAX受注などの受注登録業務、受注残管理業務
- ・ 在庫ロット引当からの出荷登録業務
- ・ 倉庫に対しての出荷指示業務（分割出荷可能）
- ・ 倉庫での出荷確定業務
- ・ 納品案内書、仕切書の自動返送
- ・ 会計システムへの連携
- ・ エラー実消化データの暫定振り分け機能
- ・ 実消化データの分析、EXCELダウンロード機能
- ・ 実消化データの洗替
- ・ 営業支援システムへの連携まで

実消化データの利活用

実消化データは御社のMRの大切な情報原で、どの施設（医療機関）で処方されているのかを知る唯一の情報です。この情報を以下の切り口で集計し、見ることで、その活動内容を最適化することが出来ます。

- ・ 実消化施設別／処方施設別／施設ランキング別／施設区分別／
- ・ 卸別／卸組織別／
- ・ 担当MR別／担当マネージャー別／
- ・ 市別／県別／地域ブロック別／全社
- ・ 製品別（ブランド名+剤型+有効成分含量）／ブランド別（製品分類 | 品目）／剤型別／ など

エラー実消化データの暫定振り分け

実消化データにはエラーデータがつきもの。しかし、その実消化情報は担当MRの成績につながり、エラーデータとしては数日でも放置は出来ないもの。実消化データから暫定施設に紐付けを行い、エラーデータであってもMRの活動に役に立つようにしています。

実消化データの数々の抽出条件とEXCELファイル出力

数百万件の実消化データをEXCELで直接操作するのは実質不可能です。数々の抽出条件で欲しいデータをセレクトしてからEXCELファイルにダウンロード出来ます。これでデータが多すぎて、EXCELで時間を無駄に使うのを防ぐことが出来ます。



ファイラーシステムズ株式会社はPマークを取得しています。